

Eブック

クラウド移行の準備は 整っていますか？

膨大なデータを処理するVMwareワークロードを
パブリッククラウドに移行できるよう、インフラを準備しましょう。

 **NetApp**



目次

そろそろ出発の時間です	3	➔
移行のロードマップ	4	➔
コンピューティング、ストレージ、ネットワーク リソースを仮想化	5	➔
オンプレミスのデジタル基盤を最新化	6	➔
オンプレミスに仮想プライベート クラウドを構築	7	➔
アプリケーションを高速化	8	➔
出発進行！	9	➔
ネットアップとVMwareで優位に立つ	10	➔
ネットアップとVMware — 成功をもたらす組み合わせ	11	➔
ネットアップとVMwareで、今すぐクラウド移行に向けて準備	12	➔



そろそろ出発の時間です

今やVMwareワークロードは、クラウドに移行するかどうかだけでなく、いつ移行するかが重要になりました。ただしクラウドへの移行は目的ではなく、あくまでも手段に過ぎません。組織が求める手段はそれぞれ異なりますが、VMwareワークロードのクラウド移行を求める理由は、主に次の3つに分類されます。

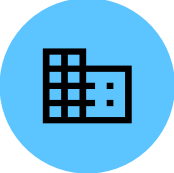


- 仮想データセンターを最新化する
- アプリケーションを高速化する
- ハイブリッド マルチクラウド環境を構築する

移行ではさまざまな課題に直面します。たとえば、アプリケーションの再プラットフォーム化や再設計を避けるには、どうすればよいでしょう？ VMwareワークロードをクラウドで運用するコストを削減するには？ ITをさらに効率化するには？ 最新アプリケーションからすばやく価値を引き出すには、どうすればよいでしょう？

クラウド移行に向けて段階的な目標をいくつか設け、それに沿ってアプリケーションとインフラを準備しておく、いよいよというときに、ハイブリッド マルチクラウド ソリューションへ簡単に移行できます。

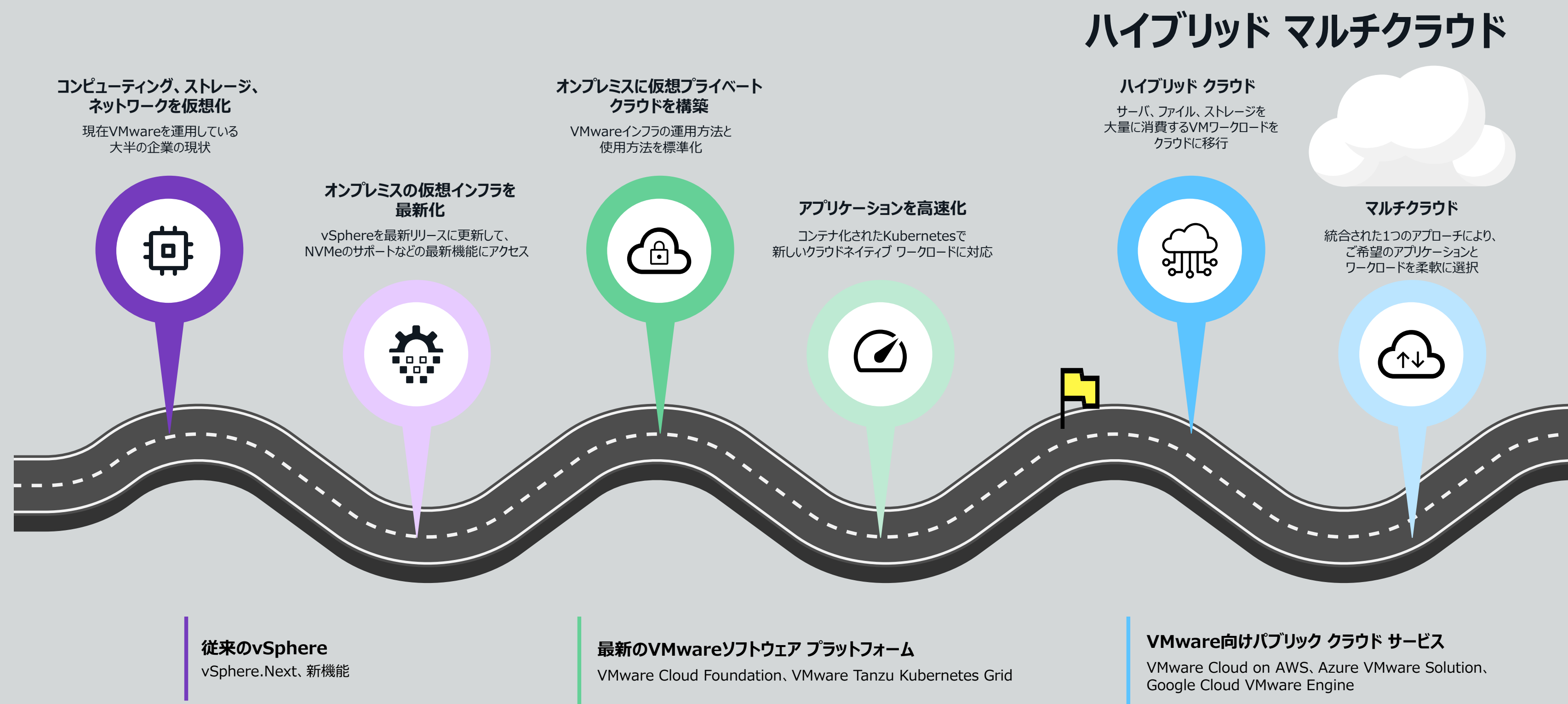
ネットアップとVMwareで課題を解決

20年以上にわたって共同開発に取り組んできたネットアップとVMwareには、データセンターを最新化してクラウドを統合するという1つの共通ビジョンがあります。両社の共同ソリューションがお客様の目標の達成にどう役立つかをご覧ください。

共同開発の成果	お客様のメリット
 仮想データセンターを最新化	VMwareソリューションの一元管理により、仮想データセンターのパフォーマンス、拡張性、保護機能、コスト効率が向上
 アプリケーションを高速化	従来型の仮想マシンを使用するKubernetesワークロードを共通の管理フレームワークで管理し、コストを削減
 ハイブリッド マルチクラウド環境を構築	アプリケーションをリファクタリングすることなく、マルチクラウド環境でも一貫した運用でワークロードをコスト効率よく管理

移行のロードマップ

クラウド移行のどの段階にあるかを問わず、ネットアップとVMwareは、お客様が無事クラウドへと移行できるよう、ソリューションと専門知識でサポートします。何十年にもわたって共同でソリューションを開発し、絶えず統合に取り組んできた両社の歴史により、移行の道筋を示す、将来を見据えたプラットフォームを構築できます。

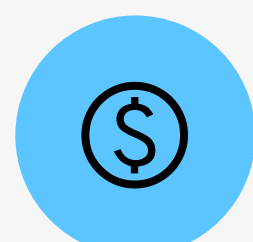


コンピューティング、ストレージ、ネットワーク リソースを仮想化

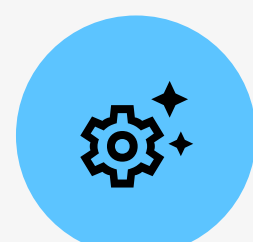
クラウド移行に乗り出したばかりの企業は、お客様だけではありません。IDCのレポートによると、ヨーロッパの企業のうち、データ量が膨大で大量のストレージを必要とするワークロードをクラウドに移行している企業は2%に過ぎません¹。

おそらく、お客様のアプリケーションは仮想化されていて、オンプレミスのコンピューティング、ストレージ、ネットワーク リソースのすべてで必要なパフォーマンス、効率性、コスト削減を実現するよう最適化されているのではないのでしょうか。でも、これからはどうでしょう？

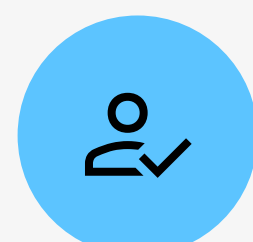
次のステップに進み、そうした大量のデータを処理するワークロードをクラウドに移行するとなると、その過程でいくつもの障害を乗り越えなければなりません。



コストがかかる



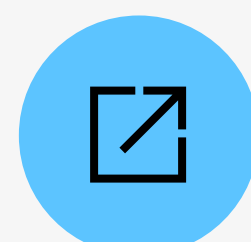
一貫性に欠ける運用



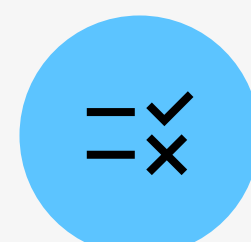
異なるスキルセットとツールが必要



別々の管理ツールとセキュリティ管理



一貫性のないアプリケーションのSLA



互換性のない仮想マシンのフォーマット

次のステップ

クラウド移行がまだ計画の段階でもご心配は無用です。ネットアップとVMwareが付いていれば安心です。今こそ、精力的に構築してきた基盤を活用してクラウドに移行するときです。

ネットアップは、コンピューティングとストレージを切り離し、ワークロードの種類もクラウドの種類も問わない、統合された1つのアプローチによって障害物を取り除き、VMwareワークロードにクラウドの経済性を活かせるようお手伝いします。

さらに詳しく

→ [NetApp and VMware: A unified approach to hybrid cloud](#)

→ [Top 10 reasons: Why NetApp for VMware environments](#)

→ [Your future-ready platform is here today](#)



オンプレミスのデジタル基盤を最新化

クラウドに近づくための次のステップは、オンプレミスの仮想インフラを最新化することです。インフラを最新化すると、真に統合されたハイブリッドクラウド環境を構築して、オンプレミスとクラウドの運用に一貫性を持たせることができます。

ネットアップとVMwareのソリューションを使用すると、クラウドの運用を簡単に始めて、環境をすばやく拡張できます。最新バージョンのNetApp ONTAP®データ管理ソフトウェアを搭載したNetApp AFFやFASシステムにアップグレードして、可能な限り高いパフォーマンスを達成し、クラウドの運用を試みましょう。超最新型インフラがご希望なら、VMwareをNVIDIA AI Enterpriseソリューションでアップグレードしましょう。FlexPod®統合インフラを基盤にすれば、クラウドに対応したハイパフォーマンスAIソリューションが実現します。

ハイブリッドクラウドの管理には、ネットアップが提供する以下の包括的なアプリケーションスイートが役立ちます。

- **Cloud Insights** : VMwareスタック全体にわたり、クラウドストレージを監視、トラブルシューティング、最適化
- **Cloud Data Sense** : データを検出、マッピング、分類
- **Cloud Manager** : 統合された単一の管理インターフェイスで管理を合理化

次のステップ

- ✓ vSphereを最新バージョンに更新する
- ✓ ONTAPを最新バージョンに更新して、NVMeのサポートなどの最新機能にアクセスする
- ✓ ハードウェアをクラウド対応型にアップグレードする
- ✓ オールフラッシュストレージに移行し、オンプレミスとクラウドで一貫したエンタープライズクラスのデータ管理を実現する
- ✓ ネットアップのCloud InsightsやCloud Data Senseなどのクラウドデータサービスを使ってみる

さらに詳しく

→ VMware vSphere向けONTAPツール

→ ネットアップとVMwareのソリューション

→ Cloud Insights

→ Cloud Data Sense

→ Cloud Manager

オンプレミスに仮想プライベート クラウドを構築

クラウドへの移行では、仮想プライベート クラウドの構築が重要なステップです。オンプレミスに仮想プライベート クラウドを構築すると、パブリック クラウドがビジネスにどのように役立つか調べることができます。手始めに、重要性の低いファイルやアプリケーション、ワークロードでクラウドをテストしてみましょう。この機に、開発とテストなどのユースケースをクラウドで試すことも可能です。

ネットアップとVMwareは、仮想プライベート クラウドを簡単に構築できるよう、価値を損なうことなくシンプルさを実現する統合ソリューションを提供しています。ネットアップのデータ ファブリックを導入すると、必要な場所にデータを配置できます。データの可視化と分析、データ アクセスとデータ制御、データ保護とセキュリティなど、充実したデータ管理機能を、環境のどこでも変わらずに利用できます。

次のステップ

- ✓ vSphereを最新バージョンに更新して、NVMeのサポートなどの最新機能にアクセスする
- ✓ VMware Cloud Foundationを導入する

さらに詳しく

- ➔ NetApp and VMware Cloud Foundation made easy
Part 1: Getting started
- ➔ NetApp and VMware Cloud Foundation made easy
Part 2: VCF and ONTAP principal storage
- ➔ NetApp and VMware Cloud Foundation made easy
Part 3: VCF and Element principal storage
- ➔ NetApp and VMware Cloud Foundation made easy
Part 4: ONTAP tools for VMware and supplemental storage

アプリケーションを高速化

Oracle、SAP、SQLなどのエンタープライズアプリケーションは、ビジネスを動かすエンジンです。クラウドを導入先に選ぶと、オンプレミスのソリューションにつきもののCAPEX（設備投資）や管理スキルが不要になり、アプリケーションインフラを簡単に最新化できます。

今や、こうしたアプリケーションをクラウドに移行するかどうかは問題ではありません。本当の問題は、どうすれば最適なクラウドソリューションに移行して高い効果を上げられるかです。

コンテナとKubernetesを使用すると、複雑さを増すことなく、重要なアプリケーションにふさわしいインフラを用意できます。ネットアップとVMwareのソリューションはKubernetesと完全に統合されているため、面倒な手間なく、エンタープライズアプリケーションを簡単にクラウドへ移行できます。

次のステップ

- ✓ コンテナ化されたKubernetesで、新しいクラウドネイティブワークロードに対応する
- ✓ VMware Tanzuを導入する

さらに詳しく

➔ Webセミナー：Kubernetes, VMware, and NetApp — A match made in container heaven



出発進行！

準備が整ったら、いつでもお好きなタイミングで、膨大なデータを扱うVMwareワークロードをハイブリッドマルチクラウド環境に移行しましょう。

ネットアップとVMwareのソリューションを使用すると、代表的な3つのクラウドプロバイダ（AWS、Azure、Google Cloud）のいずれにも、VMwareワークロードを移行できます。移行の前に、アプリケーションをリファクタリングする時間やコスト、面倒な手間は不要です。

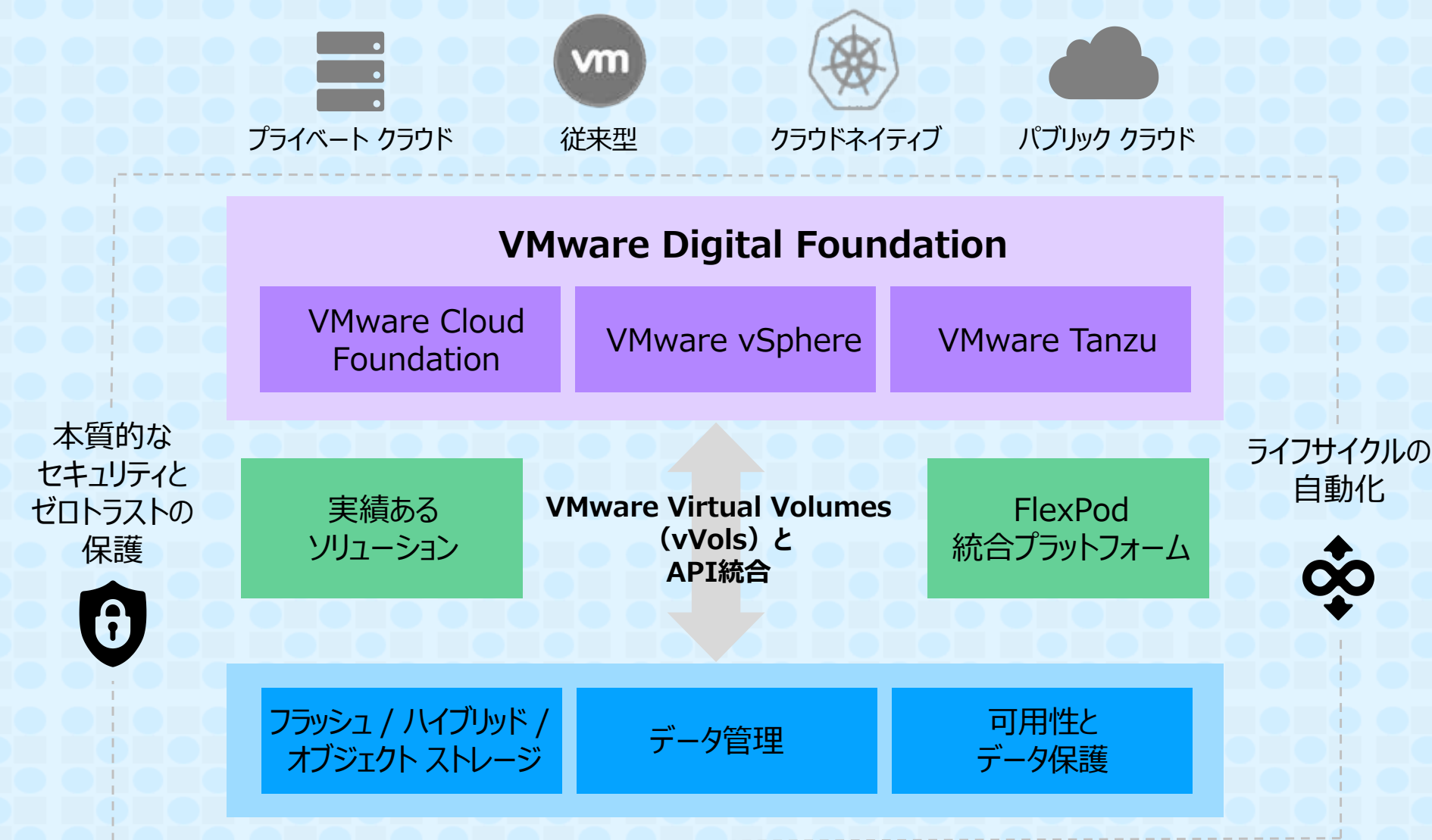
ハイブリッドマルチクラウドに対応した最新の差別化された統合ソリューション

ネットアップとVMwareは設計パートナーとして、データを大量に処理するワークロードを簡単にクラウドへ移行できるようにします。

ネットアップは、VMware Cloud Servicesとお客様が選択したクラウドを外付けデータストアとして補完することが業界で初めて認定され、統合、サポートされている唯一のパートナーです。

VMwareは、次世代プラットフォームの設計と開発にネットアップのシステムとソフトウェアを使用しています。ネットアップは、データファブリック管理プレーンとVMwareソフトウェア管理プレーンをvSphere、VCF、Tanzu、VMware CloudにわたってAPIレベルで直接統合し、従来型ワークロードとKubernetesネイティブの新しいワークロードをともにサポートします。

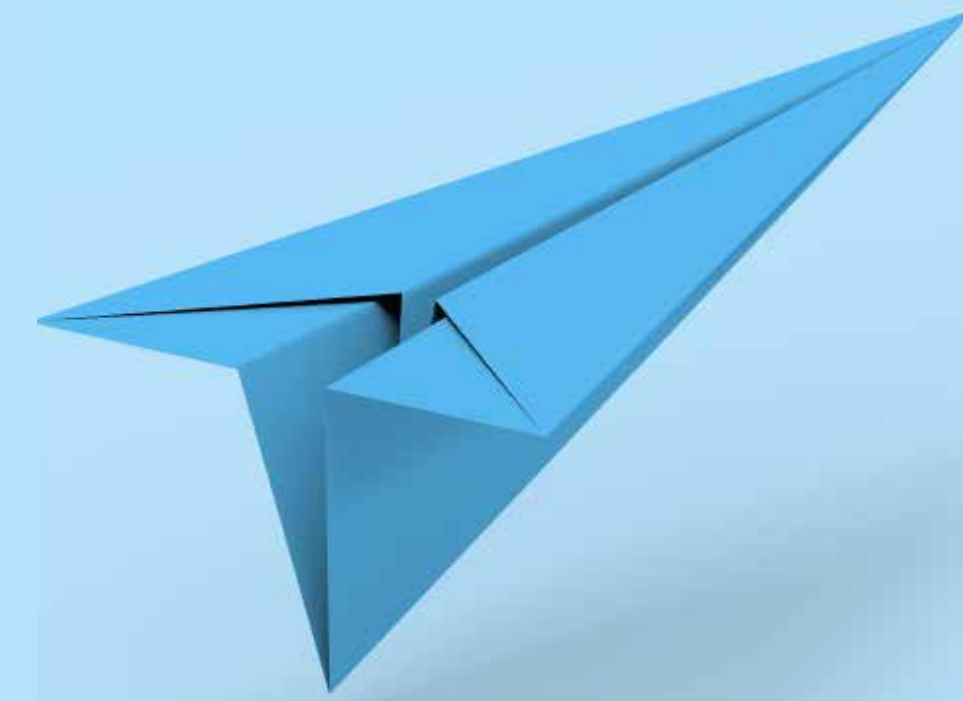
ネットアップのデータファブリック



ネットアップとVMwareのハイブリッドマルチクラウドソリューションを使用すると、クラウドとオンプレミスの環境間で、必要に応じてデータとアプリケーションを簡単に移行できるデータファブリックを構築できます。これにより、データがどこにあっても、統一された一貫性のある運用が可能になります。

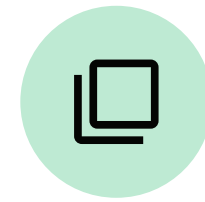
ネットアップとVMwareで優位に立つ

ネットアップとVMwareは、ソリューションを設計から提供まで深く統合するために必要な、包括的な共同エンジニアリングへの投資を続けています。大変な仕事ですが、誰かがやらなければならないことです。



VMware Cloud (VMC、AVS、GCVE)

VMwareハイブリッドクラウド環境で、NetApp Cloud Volumes ONTAPの機能（パフォーマンス、効率、保護）を統合的に活用できます。



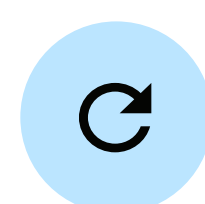
VMware Tanzu

vVols、VMware CNS on NFS、VMFSを使用して、ファーストクラスのディスクおよび永続的データストアをサポートします。



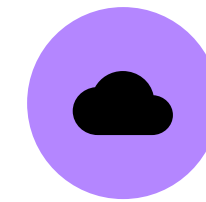
VMware vSphere Storage API - Array Integration (VAAI)

vSphereにより、ネットアップのコピーとクローンのオフロードや、シック仮想ディスクファイルのスペースリザーベーションが可能になります。



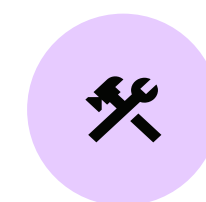
VMware Site Recovery Manager (SRM) プラグイン

NetApp Storage Replication Adapterを使用して、ディザスタリカバリのレプリケーションを管理し、DRレプリカの無停止テストを実現します。



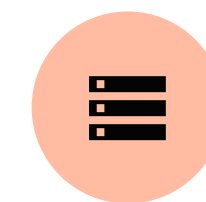
VMware Cloud Foundation

プライマリおよびセカンダリデータストアとして、vVols、NFS、VMFSでNetApp ONTAPのパフォーマンス、効率、保護を利用できます。



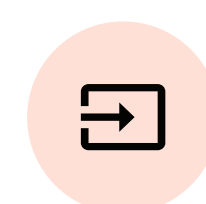
ONTAP Tools for VMware (OTV)

vVolsの従来のデータストアをポリシーベースで管理し効率化。VMのクローニング処理のためにコピーをオフロードします。



VMware vStorage API for Storage Awareness (VASA)

vVolsのサポートやストレージプロファイルなど、VMストレージのプロビジョニングと監視を簡易化します。



VMware vSphereプラグイン

NetApp SnapCenter®を使用して、アプリケーションと整合性のあるデータ保護とクローン管理をオフロードし、簡易化します。






ネットアップとVMware — 成功をもたらす組み合わせ

20年以上にわたって連携してきたネットアップとVMwareは、成功をもたらすコンビとして、クラウドへのスムーズな移行を実現します。両社のソリューションは統合が簡単で、価値を損なわずにシンプルさを提供するよう設計されています。これは、VMwareワークロードをクラウドに移行する準備をしているお客様にとって、念頭に置くべき重要な特徴です。





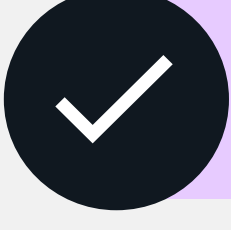
ネットアップとVMwareの共同ソリューションは、次のことを可能にします。

- 業界をリードする仮想化、データ保護、セキュリティを基盤で提供
- VMwareデータストアの効率的な統合管理により、ビジネス リスク、コスト、複雑さを低減
- セキュア マルチテナンシー
- 主要なプロトコルをすべてサポート

ユースケース

-  データ保護
-  サイバー レジリエンス
-  クラウドへの移行
-  クラウドへの拡張
-  クラウドでのディザスタ リカバリ

1つのソリューションで、シンプルさと 他社にはない価値を提供

-  **VMのパフォーマンスを向上**：レイテンシを75%削減し、コンピューティング使用率を50%少なくすることで、VMのパフォーマンスを2〜3倍に高めることができます。
-  **ストレージ コストを低減**：オンプレミスのストレージ コストを5分の1から30分の1に削減します。VMware Cloud Servicesの運用コストを25〜50%カットします。
-  **柔軟性**：ストレージの種類、プロトコル、サーバ、オペレーティング システムを問わず、統合された導入オプションを選択できます。
-  **効率性**：VMwareネイティブのAPI統合により、VMとストレージの連携効率が向上します。
-  **保護**：アプリケーション対応のデータ保護とゼロトラストの本質的なセキュリティにより、データを保護します。

ネットアップとVMwareで、 今すぐクラウド移行に向けて準備

今すぐ始める

➔ ネットアップとVMware：洗練された最新のクラウド対応ソリューション

➔ ネットアップとVMwareのソリューションを今すぐ始めましょう

➔ ハイブリッド マルチクラウド向けプロフェッショナル サービス

1. IDC Survey Spotlight「What is European Organizations' Attitude Toward Using Public Cloud Services?」(2022年1月)



ネットアップについて

ジェネラリストが多い世界で、ネットアップはスペシャリストとしての存在感を示しています。お客様がデータを最大限に活用できるようにすることを1つの目標として、支援に全力を注いでいます。ネットアップは、信頼できるエンタープライズクラスのデータ サービスをクラウドにもたらし、またクラウドのシンプルな柔軟性をデータセンターにもたらしめます。業界をリードするネットアップのソリューションは、さまざまなお客様の環境や業界最大手のパブリック クラウドに対応します。

クラウド主導のData-Centricなソフトウェア企業であるネットアップは、お客様に最適なデータ ファブリックの構築をサポートし、クラウド対応をシンプルに実現し、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザにいつでも、どこからでもセキュアに提供できる唯一のベンダーです。



+81-3-6870-7400

© 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. NetApp、NetAppのロゴ、<https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。NA-880-0722-jaJP